

令和3年度
「新しい学校推進 意見交換会」資料

【柚木小学校】【柚木中学校】

佐世保市教育委員会
新しい学校推進室

1

1 柚木小学校区・柚木中学校区 現在の通学区域（校区）図



2

2 柚木小学校・柚木中学校 近隣地図



3

各学校の現状 及び 児童生徒数の将来推計

① 現状（令和元年5月1日現在）

小・中学校	柚木小	柚木中
児童数（令和元年5月1日現在）	182人	99人
学級数（特別支援含む）	7(8)学級	4(6)学級
建築年数	58年	32年
校舎延床面積（施設台帳より）	3,197 m ²	2,818 m ²
運動場面積	約 5,700 m ²	約 8,300 m ²
敷地面積	約 12,200 m ²	約 15,500 m ²
地区自治協議会区域	柚木	柚木

※敷地面積には山林や法面（人工的な斜面）を含めておりません。

② 柚木小学校・柚木中学校区の児童・生徒数の推移

再編しない場合			再編した場合		
学校名	令和元年 (5月1日現在)	20年後 (2040年推計値)	学校名	令和元年 (5月1日現在)	約20年後 (2040年推計値)
柚木 小学校	182名	約120名	柚木義務 教育学校	281名	約180名
柚木 中学校	99名	約60名			

4

学校再編案について

目的	<p>☆9年間を見通した小中一貫教育の導入によって、柚木小と柚木中が小規模校であることのメリットを生かしつつ、さらに児童生徒の個性や能力を伸ばす教育の充実を図ること</p> <p>☆柚木小の施設老朽化問題の解消</p>
再編案	<p>◎<u>柚木小と柚木中を統合し、義務教育学校とします。</u>（統合後の場所は柚木中）</p> <p>（理由：小規模校であるため、同校種との統合により望ましい学校規模を目指すべきですが、近隣校が遠いため、児童生徒の負担が大きいと考えます。そこで、施設一体型の義務教育学校とすることで、学校全体として一定の集団規模を確保しつつ、児童生徒の個性や能力を育成したいと考えます。場所の選定理由は、柚木中の敷地の方が広いためです。）</p>
期待できる教育効果	<p>○義務教育学校という一つの学校組織及び施設一体型となることで、9年間を見通した特色ある教育活動を、緊密に連携しながら行うことができます。</p>
留意点	<p>○通学距離が長くなる児童が出てくる可能性があります。</p> <p>○現在の中学校の校舎では、小学生用の教室が不足します。</p> <p>○小中一貫教育を導入しても、一学年あたりの小規模化という課題が残ります。</p>
対応策	<p>○現在同様、タクシー等の補助を検討します。</p> <p>○教室不足に対応するための整備を行います。</p>

- 学校規模対策のため、「柚木小と柚木中を義務教育学校へ統合」することについて。

柚木小学校



柚木中学校

